令和５年度　平戸市立田平南小学校　校内研究構想図

《学校教育目標》
めあてをもって生き生きとやり抜く子どもの育成

《子ども像》
〇明るく思いやりのある子ども　（にこにこ）
〇自ら考え進んで学ぶ子ども　（はきはき）
〇元気よくがんばる子ども　（どんどん）

《研究主題》
主体的に学びに向かう児童の育成
～「できた」「わかった」につながる算数科学習指導の工夫を通して～

《研究仮説》
「算数科学習指導において、問題把握の工夫や説明と対話の充実を図れば、児童は自らの学びの道筋を捉え、自分なりに課題を解決することや分かったことの共有を通して自信を持ち、主体的に学びに向かう力の向上を図ることができるであろう。」

《具体仮説①》
【問題把握と見通しの持たせ方の工夫】
問題に出てくる情報を正確に読み取ったり、既習内容との関連や違いに気付いたりさせるための工夫をすれば、児童は自らの学びの道筋を捉えることができるであろう。

・情報を整理する場の設定や工夫
・既習事項の提示
・問題→見通し→めあての流れによる学習課題の明確化

《具体仮説②》
【共同解決の場における指導の工夫】
考えを多様な表現で表す指導や相手意識をもって考えを伝える・理解する・つなげる指導を行えば、考えを伝えることに自信を持つことができるであろう。

・表現方法を選ぶ場の設定
・ペアまたはグループ学習の場の設定
・質問・確認タイムの設定
・よりよいまとめの在り方

《具体仮説③》
【基礎学力の定着】
基礎的な計算や読む力を育成したり、家庭学習を充実させ、自ら学ぶ力を高めたりすれば、学習に対して自信や意欲を高めることができるであろう。

・やまびこタイムの充実
・スキルアップタイムの充実
・読書活動の充実
・家庭学習の習慣化
・自主学習の励行